



三鷹中央通信



日本医療機能評価機構

三鷹中央病院は、平成19年2月に日本医療機能評価機構 Ver5の認定を受けました。

2011年 Vol.13

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したリハビリを行います。障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守るお世話をいたします。明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

当院は 地域医療の第一線を担う病院であることに誇りをもち いつでも どなたでも診療いたします。常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故のない病院をめざします。



「積小為大」と「福祉経済一元論」



三鷹中央リハケアセンター 事務局長 平尾圭司

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、早いもので、私が三鷹中央リハケアセンターの事務長に就任して半年が経過しました。私が福祉業界で働き始めたのは、介護保険制度が施行される3年前となりませんが、私が福祉業界で働くに際して心の片隅に置いている言葉がありますので、それらを紹介しながら、今後の施設運営について意見を述べてみたいと思います。

私が心に留めている言葉、それは「宮尊徳（以下「尊徳」という）の言葉です。私は長い間、尊徳と言えば、学校の片隅に置いてある、薪を背負いつつ読書に励む銅像のイメージしかなく、実社会において広く活躍された方であることを知ったのは、私が30歳を過ぎてからのことでした。

尊徳は江戸時代末期の人で、人生の前半においては、一家離散した自家を20歳で再興させ、その後、小田原藩家老の家政を黒字に建て直し、下野国桜町領4千石の再建を果たした実績を持ちます。その後、幕府の役人に取り立てられ、尊徳の「報徳仕法」によって600以上の農村を再建させています。

尊徳の行動哲学の中心は「積小為大」であり、「小さいことを積み重ねることによってこそ、大を為すことができる」という考え方を実践した方でした。また、数多くの農村を再興に導いた「報徳仕法」という再建法の考え方の中心は「道徳経済一元論」であり、その本質を「道徳を忘れた経済は罪悪である。経済を忘れた道徳は寝言である」という言葉で語っています。

この「積小為大」を今風に言えば「セルフ・ヘルプ」、

つまり「自助努力」の考え方に他ならないと私は考えます。福祉業界は平成12年に施行された「介護保険法」の下で事業を展開していますが、そのサービス費が公定価格であり、事業の細部に渡って細かな規制が掛かっている為、業界で働く職員には「親方日の丸」的な発想が根強くあります。話は変わりますが、佐世保重工業、国鉄、ダイエーなどの経営再建に携わってきたコンサルタントが、倒産の危機に瀕した企業に共通している考え方を紹介していました。それは、「これらの企業は『親方日の丸』という甘えの構造があり、現状認識が非常に甘く、『まだそれほど厳しい状況でない』とか、『誰かが助けてくれるだろう』と考える」というものでした。このように、『親方日の丸』的な発想は、自己責任が欠如しているが故に、企業を衰退させる危険な考え方である事を理解し、自助努力を機軸にした仕事を展開してゆく必要があると考えます。

尊徳のもう1つの考え方「道徳経済一元論」を現在の仕事に当てはめると、「福祉経済一元論」となります。つまり、福祉であっても国や行政から独立して事業活動を行うには、福祉サービスと経済的な部分を別々に考えるのではなく、車の両輪として一緒に考えなければならぬということになります。或る経営コンサルタントは、「お客様を忘れた自己本位の考え方を『天動説』という」と指摘していましたが、福祉サービスの基本としても、自己本位の考えを捨て、相手の立場になって物事を考えることが素晴らしいサービスを生み、如いては経営を安定させて行くという事を理解する必要があります。

今後、平成25年頃までは、三鷹市及びその周辺地域に福祉施設が数多く建設される予定となっています。時代は変化し、環境も変化し、お客様の考え方も時代と共に変化しています。このような変化に対し柔軟に対応できるように、私も創意工夫を重ねていきたいと考えます。今後ともよろしくお願いたします。

「高齢者の防災対策」

東日本大震災で被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

2011年3月11日、宮城県牡鹿半島沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録しました。この地震により、場所によっては波高10メートル以上の大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。東海大地震や相模湾沖地震なども危惧されている現在、高齢者の防災対策について主だったものを挙げてみたいと思います。

●寝る場所は倒れてくる物が無く、避難しやすい部屋にしましょう。

●介助者不在時の災害発生を想定し、隣近所等に万一の際の支援を依頼しておきましょう。

●避難時の移動に備えて、幅広い紐、車イス、タンカ、毛布等を用意しておきましょう。

●非常時用持出品として、非常食、水、紙オムツ、携帯トイレ、ビニールシート（オムツ交換時や着替え時に必要）、幅広い紐等を用意しておきます。また、常

備薬を飲んでいる人は、自分の病名や普段飲んでいる薬の種類等を書いた



リストも作って入れておきます。入れ歯や老

眼鏡、補聴器等、日常生活に必要な物は、日頃から身の回りに置くようにしましょう。

●避難場所や家族等との連絡方法を普段から確認しておきましょう。



「まさか自分は大丈夫」と思い込みがちですが、防災対策をする上で一番重要なのは災害をイメージすることなのです。実際に地震が発生した場合に、自分の身にとどのような事が起こるのか、その時どうしたら良いのか、予めどうしておけば良いのか等を想定してイメージしてみることが、具体的な防災対策に役立ちます。

また、地域等で実施する防災訓練等に参加することは、防災上の問題点や注意点を再認識できると共に、地域のひととのコミュニケーションの機会となることから、災害時の迅速な安否確認や救助に役立つと考えられています。今一度、我が家の防災対策を見直してみてもいかがでしょうか。



「非常災害に備えて」

このたびの東北地方太平洋沖地震と、それに伴って発生した津波の影響はまさに想像を絶する大災害となりました。この災害でお亡くなりになった方々や、ご遺族の皆様には心から哀悼の意をささげます。被災地の皆さまが一日でも早く復興できるよう心よりお祈り申し上げます。

国の地震調査によると、ここ東京でも今後30年の間にマグニチュード7クラスの大地震が起きる可能性は70パーセントだといわれています。

特別養護老人ホームでは、非常事態に備え消火設備や非常災害に際して必要な設備を設けるとともに、定期的に避難訓練を行うなど、非常災害対策をしています。



ケアコート武蔵野でも平成22年度は、消防隊員立会いのもと、6月に夜間を想定した避難訓練、12月に昼間を想定した避難訓練を3回行いました。

入所定員72名のうち、63名の方が車イス等を使用した移動で、介助を

ケアコート武蔵野

必要としています。

そのような中で、限られた人員と時間で、いかに素早くご利用者様を避難誘導するかが問題となります。そのために武蔵野市の防災課、地域の消防署や町会との連携が必要不可欠となってきます。非常用食料の備蓄や発電機の確保等々、災害時及び災害後の備えも重要課題となります。

平成22年4月1日より、武蔵野市との間で「災害時に要支援者（高齢者）の福祉避難所として社会福祉施設等を使用することに」関する協定を締結し、災害時は、施設の入所者及び地域からの要支援者の対応と、事態に対応する職員の確保等、特別養護老人ホームに課せられた課題と責務は大きなものとなっております。



実際に東京都で大地震が発生した場合、想定通りにはいかないかもしれません。それでも、万が一に備え、日ごろより必要な準備を行うことは非常に大切だと思います。

これからもケアコート武蔵野では、非常災害に備えて、ご利用者様の安全を最優先とし、安心して施設で暮らしていただけるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

◎三鷹中央病院

住所:〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel:0422-44-6161(代) Fax:0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科:内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科
整形外科・皮膚科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・リハビリテーション科
人間ドック(1日・1泊)・健康診断・各種検診・産業医委託

診療時間:月~土曜日/am9:00~12:00 pm2:00~5:30
日曜・祝日/am9:00~12:00(救急外来は24時間受付)

病床数:122床(一般病床)

その他:三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel:0422-48-6031
ふれあい診療所 Tel:0422-79-1313



◎三鷹中央リハケアセンター

住所:〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel:0422-70-0700(代) Fax:0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数:100床(一般療養100床)
4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備:機能訓練室(207.00㎡) 機械浴室(男女別) 自立浴室

その他:通所リハビリテーション(定員60人) Tel:0422-70-0700
訪問看護ステーション Tel:0422-70-1055
居宅介護支援事業所 Tel:0422-70-1066



◎ケアコート武蔵野

住所:〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7
Tel:0422-39-0390(代) Fax:0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

病床数:80床(一般病床)

事業内容:特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)
短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴:○全室個室のユニットケアを実施します。
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にしたい
サービスの提供に努めます。



ACCESS

三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ④「新小金井駅」行
- ④「武蔵境営業所」行
- ⑤「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分

- タクシー(1区間)

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線 吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行

京王線 千川駅(北口)

- 小田急バス ⑧「三鷹駅」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

JR中央線 武蔵境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
- ④「吉祥寺駅」行

『井口新田』下車徒歩1分

